

男性 4 人は池袋 6:50 発の特急ちちぶ 3 号で、布目さん、小山さんは武蔵野線乗り継ぎと入間から普通で、横瀬駅 8:15 に集合した。



横瀬駅から眺めた武甲山。採掘跡が痛ましい



予約済みのタクシー2台で一の鳥居へ向かう



車は石灰石工場やセメント工場の間を抜けて進む



8:30 一の鳥居（標高約 500m）に到着した



各自ストレッチで準備体操



8:35 一の鳥居を出発する。
今日は晴れて陽射しも強く
暑くなりそうだ。

一の鳥居が一丁目だ。



鬱蒼とした杉並木のコンクリート登山道を 10 分進むと 4 丁目の標石が出てきた。(8:40)



10 分程登ると早くも十丁目になり、更に数分で持山寺跡・シラジクボへ分岐だ。勿論武甲山山頂を目指す。



一の鳥居から歩き始めて 30 分経過。
大杉の広場まで 50 分、武甲山頂まで
1 時間 40 分と書かれた標識が出てきた。
まだ、先は長い



9:05 沢に掛かった頼りなさそうな橋を渡ると直ぐに・・



不動滝が現れた。そこは登りで唯一の水場であり、冷たくて旨かった。名水百選に入っている。



ここは十八丁目で祠があり、最初の休憩を取った。9:10



更に数分進むと、今度はガッチリ強固な橋が現れてこれを渡る。(9:15)



9:16 武甲山御嶽神社の石柱があり、この辺りからフタリシズカが始めた。

ここから始めて、山頂から下山するまでフタリシズカが咲く山全体が群生地だった。

当日見た時は、ヒトリシズカと間違えていたが、後で調べたところフタリシズカであることが判った。



9:33 二十七丁目に到着。二回目の休憩を取る



9:50 大杉の広場（標高 1000m）に到着したが、休憩せず先へ進む。山頂までまだ 50 分掛かる。



三十五丁目を過ぎると、山肌一面がフタリシズカの群生地となった。三十七丁目で三回目の休憩



四十丁目を過ぎると、丸太の階段状から大きな石のガレ場登山道に変わる。(10:20)



10:28 四十七丁目に到着したが、山頂に近いこともあり休憩を取らずに先に進む。
布目さんは暑さにバテ気味だ。



10:38 五十丁目に到着。山頂は間近だ。



更に 2 分後には五十一丁目で、山頂直下の十字路に到着。左コース（浦山口）が下山路になる。



10:42 武甲山山頂（五十二丁目）の御嶽神社に到着した。 神社の裏手が展望台だ。



御嶽神社の境内はコバイケイソウの群生地だったが、花はこれからだった。その中にマムシグサが・・・



10:50 山頂標識を囲んで記念の一枚を撮る。地図では1295mとあったが、1304mとなっていた。

ウィキペディア情報によれば、明治33年(1900年)の測量では1336mだったのだが、山頂まで石灰岩の採掘が進み三角点が移動して1295mとなったのが昭和52年(1997年)。その後の調査で三角点より25m離れた、現在標識が立っているところが1304mであることがわかり、国土地理院はこれを武甲山最高地点と改めたとのことだ。



山頂展望台からの眺めは・・・



秩父の街並みと、直下に採石のダンプが・・・



展望台から神社前の広場に戻ったが、昼食を取る適当な場所がないのと、まだ 11 時で時間が早いこともあり、下山路で良いところがないか探しながら下ることにした。(11:03)



下山路は御嶽神社の裏参道で、秩父鉄道浦山口駅までは約 3 時間と表示されていた。



下りコースは狭い登山道が続き、昼食が取れるような広い場所になかなか出会えない。



下山開始から 35 分経過し、広いスペースが現れた。ここは長屋屋敷の頭（1088m）で、水場も近くにあり、ここで昼食を取ることにした。（11:35）



思い思いのポジションで昼食、今回も布目さん、小山さんから沢山の惣菜を頂きました。ありがとう！



12:05 下山開始する。ここから浦山口まで、まだ 2 時間半の行程だ。

ここからの下りは高山植物が次々と現れ、目を楽しませてくれたが、それも一時で、大変な急下りの連続が控えていた。（高山植物は最後に纏めて掲載する）



風がなく、蒸し暑いなか、急下りが延々と続く



ヤケのヤンパチで万歳！
なんで万歳なのだ？



12:53 橋立川の上流に出た。ここで休憩を取る。



川の冷たい水で顔を洗い汗を拭き、ホッと、一息入れる。
ここから少し先に進むと舗装された林道となり、



右に橋立川を見ながら橋立に向かって進む。



林道を 20 分進むと橋立神社の鳥居が、更に 15 分進むと（13:35）、
御嶽神社の鳥居が現れた。これが裏参道の入口か？



13:40 橋立鍾乳洞に到着した。ここから浦山口駅までは 10 分弱であり、ユックリ休憩する。

次に、武甲山で出会った高山植物を一覧にした。



ヒメウツギ



ヘビイチゴ



フタリシズカ



ノリウツギ



フタリシズカ



コバイケイソウとマムシグサ



ハンショウズル



ズミ



ヤマアジサイ



ニガナ



アヤメ



エゾノレイジンソウ



コバイケイソウ



タチツボスミレ



ホタルブクロ



14:10 秩父鉄道 浦山口駅に着き、14:31 の電車を待っていると、「ピー」と汽笛の音が聞こえ・・・



それは秩父鉄道を休日運転する観光用 SL 列車 C58 であった。浦山口には止まらず通過・・・
我々は次の電車に乗り、お花畑駅で下車し西武秩父駅へ歩く。



西武秩父駅は昨年リニューアルされ、駅舎内に日帰り温泉「祭の湯」が出来た。

我々は先に、帰りの特急指定を確保し、温泉に向かった。



今日一日、タツプリかいた汗を洗い流し、サッパリして「祭の湯」入口前の食堂で解散式だ。

今日は、梅雨入り前の快晴の一日で、タツプリ汗をかき、約6時間弱で約3万歩の行程は厳しかったが、夏登山に向けての準備として良い山旅ではあった。

お疲れ様でした。

